

Team
work+

無人島×謎解き

チームビルディングプログラム

<企業向け>



無人島×謎解きプログラムとは？

無人島に残された“海賊の宝箱”を開けるため、チームで協力して暗号を解きます！



無人島内を巡りながら暗号を解き、無事に宝箱を開けることができるのはどこなのか?!



無人島の非日常感を満喫できるプログラムです！

詳細内容（1）

●ルール：

暗号を解き、その暗号が示す場所へ行くと、
「宝箱の鍵」や「宝箱」の情報が手に入る。



情報を正しく集めると、最後に宝箱がOPEN！

しかし、正確に暗号を解かないと、偽の情報を集める
ことになってしまう・・・

最後に宝箱を開けるためには、暗号をより早く解き、

情報を正確に集めることが鍵となる。



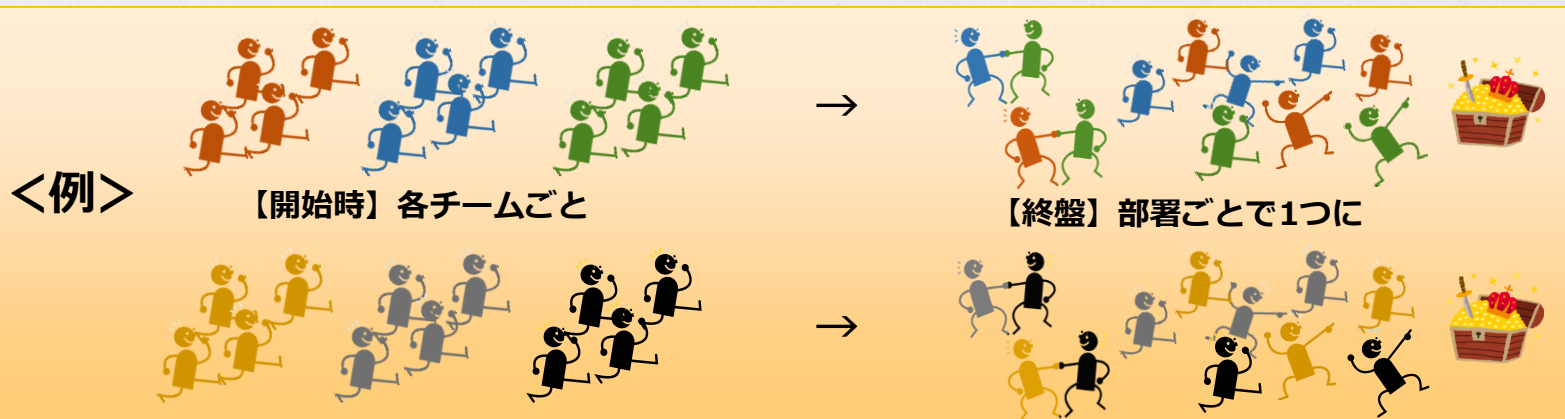
詳細内容（2）

●仕掛け（参加者には極秘！）：

開始時は、4～6名のチーム単位でスタートします。

しかし、このプログラムは、他チームとの協力がないと、最後の宝箱にたどり着けない構成です。

プログラムが進むと、「自分たちだけでは、宝箱が開けられない！」と気づき、パラダイムシフトが起こります。



詳細内容（3）

●手順：

ルール説明

暗号を解く → 暗号が示す場所へ行く → 情報を獲得する

繰り返し

他チームとの協力が必要だと気がつく

宝箱の鍵・宝箱の情報がすべて集まる

宝箱が開く！ または 開かない…

終了後インタビュー・振り返り

フェーズ①
チーム内協力

フェーズ②
チーム間協力

フェーズ③
成果を出す

タイムスケジュール

開始前	<u>定期船にて移動</u>
10分	<u>開会挨拶、目的などの説明</u> ご担当者様よりご挨拶をいただき、 チームビルディングガイドが目的などについて説明を行う。
10分	<u>ルール説明</u> プログラムのルール説明を行う。
90～120分	<u>謎解き</u> 制限時間内に各チームで暗号を解きながら情報を集め、宝箱OPENを目指す。
20分	<u>インタビュー・振り返り</u> 制限時間終了後、感想をインタビューしたり、各チームでの振り返りを行う。
10分	<u>まとめ</u> ご担当者様より、まとめの所感などをいただく。
終了後	<u>定期船にて移動</u>

※オプション：バーベキューなどの昼食プランもございます。営業担当にご相談ください。

暗号例 (1)



No.01

(U -L)(P -L)(M -L)(W -R)(B -R)(P -L)(M -L)(W -R)(B -R)
(O -L)(M -L)(P -L)(X -L)(P -L)(N -R)(Y -R)(J -L)(P -L)
(I -L)(S -R)(S -L)(O -L)(S -L)(R -R)(P -L)(M -L)(U -R)
(S -L)(T -L)(Y -R)(N -L)(R -L)(B -R)(X -R)(G -R)(O -L)
(M -L)(P -L)(S -L)(P -L)(U -R)(J -R)(S -L)(—)(S -R)
(I -R)

ヒント：文字を入力するときを使うもの

暗号例 (1)



No.01

(U -L)(P -L)(M -L)(W -R)(B -R)(P -L)(M -L)(W -R)(B -R)
Y O N E N O N E N
(O -L)(M -L)(P -L)(X -L)(P -L)(N -R)(Y -R)(J -L)(P -L)
I N O Z O M U H O
(I -L)(S -R)(S -L)(O -L)(S -L)(R -R)(P -L)(M -L)(U -R)
U D A I A T O N I
(S -L)(T -L)(Y -R)(N -L)(R -L)(B -R)(X -R)(G -R)(O -L)
A R U B E N C H I
(M -L)(P -L)(S -L)(P -L)(U -R)(J -R)(S -L)(—)(S -R)
N O A O I K A — D
(I -R) ヒント：文字を入力するときを使うもの
O

- ◆解答：「ヨネノ根に臨む砲台跡にあるベンチの青いカード」
- ◆解説：キーボードの配置を示しています。Lは左、Rは右のことです。


暗号例 (2)




No.02




暗号例 (2)

 No.02



りじむ あ えのく ど のう
② ⑧ ④ ⑪ ⑥



えの しよま かい つばこ かー かん
⑦ ③ ⑨ ⑤ ⑩ ①

© 2015 Team Building Japan Co., Ltd.

AN-864

- ◆解答：「管理事務所前の靴箱の上の赤いカード」
- ◆解説：音符の長い順に並べて文字を読みます。

暗号例 (3)



No.03



この木の周辺にある黄色いカード

暗号例（3）



No.03



この木の周辺にある黄色いカード

© 2015 Team Building Japan Co., Ltd.

AN-061

- ◆解答：展望台広場にある木
- ◆解説：島内を巡って探します。歩き回れば必ず解ける問題です。

島内地図



実施条件

- 時間 : 2.5時間前後
- 場所 : 猿島 (神奈川県横須賀市)
- 対象者 : 社会人、中・高・大学生
- 人数 : 16~430名



※[4~6名×最大8チーム]×最大9部署まで

- 持ち物 : 筆記用具
- 服装 : 無人島内を歩きやすい服装・靴・カバン
- 費用 : 1名 5,000円 (定期船、猿島入園料は別途)
- 備考 : 原則平日のみ。天候により定期船が欠航の場合、本プログラムは実施できません。

本プログラムの特長

【主な効果】

- 暗号が様々なジャンルの問題になっているため、メンバー全員の頭を使い、話し合い、行動することが求められ、チームでの協力を体感できる。
また、メンバーそれぞれの特性をお互いに知ることができる。
- 宝箱を開けるというゴールを目指し、チームメンバーと達成感を共有できる。
- 他チームとの協力が求められることで、パラダイムシフトが起こり、広い視点でのチーム協力・協同を学ぶことができる。

【主な特色】

- 遺跡と自然が残る無人島で、非日常感を満喫しながら実施できる
- 今、人気の謎解きをチームで体験できる
- 屋外でアクティブに活動できる
- 男女一緒に同じチームでも活動できる
- バーベキューなどのオプションとセットで楽しめる



チームビルディングとは？

チームビルディングとは、「メンバーが思いを一つにして、一つのゴールに向かって進んでゆける組織づくり」のことです。

メンバーが主体的に自分らしさを発揮し、相互に関わりながら一丸となって共通のゴールを達成しようと挑戦する。

そんなより良い組織にしてゆくための様々な取り組み・手法のことを総称してチームビルディングと呼びます。

このプログラムでは、楽しく皆で夢中になれるアクティビティを通じて、チームワーク向上のきっかけをつかみます。



このプログラムは、チームビルディング研修・イベントを専門とする(株)チームビルディングジャパンとの共同開発です。

**Team
work+**